

(様式1)

平成31年度試験研究課題設定のための要試験研究問題提案・回答書

(整理番号) 056	提案機関名 神奈川県畜産会
要望問題名 老朽化が進む神奈川方式家畜用浄化槽の改修	
要望問題の内容 【 背景、内容、対象地域及び規模（面積、数量等） 】 昭和40年代、全国に先駆け神奈川県で開発され、県内はもとより全国の畜産の現場で活躍する神奈川方式の家畜用浄化槽であるが、寄る歳月には勝てず老朽化が進み、日ごろの管理に難渋する事例が多くみられるようになった。最近の技術と施設を活用し、より経済的で効率の良い運用のできる改修方法を検討し、現場に普及していただきたい。	
解決希望年限	①1年以内 <input checked="" type="checkbox"/> ②2～3年以内 ③4～5年以内 ④5～10年以内
対応を希望する研究機関名	①農業技術センター <input checked="" type="checkbox"/> ②畜産技術センター ③水産技術センター ④自然環境保全センター
備考	

※ ここから下の欄は、回答者が記入してください。

回答機関名	畜産技術センター	担当部所	企画指導部企画研究課
対応区分	<input checked="" type="checkbox"/> ①実施 ②実施中 ③継続検討 ④実施済 ⑤調査指導対応 ⑥現地対応 ⑦実施不可		
試験研究課題名 (①、②、④の場合) 家畜用浄化槽の低コスト改修実証試験			
対応の内容等 当センター内の豚用オキシデーションディッチ型（OD型：神奈川方式）連続式浄化槽については昭和40年代に設置されたもので、これまでに横型エアレータ（表面曝気）をスクリュウ型（水中曝気方式）に変更しています。 平成30年6月に角形の曝気槽を増設し、メンテナンスのほとんどいらない散気管を用いて稼働開始しており、さらに、平成31年度にはOD型連続式浄化槽を、電力等の削減を目指した回分式に改修する予定です。 OD型浄化槽の改修コストやランニングコスト等について調査するとともに、角形曝気槽の散気管の曝気能力等についても実態を調査します。			
解決予定年限	①1年以内 <input checked="" type="checkbox"/> ②2～3年以内 ③4～5年以内 ④5～10年以内		
備考			